

外国人の皆さんは何に困り、何を望んでいるのでしょうか？

～習志野市外国人市民意識調査に協力しました～

伊東稔雄(広報部会)

昨年7月習志野市は、今後の多文化共生の実現に向けた事業の基礎資料とすることを目的として、習志野市国際交流協会の15歳以上の外国人会員を対象に行政に対する要望や意識のアンケート調査を行いました。調査に当たって、まだ日本語が良くわからない日本語教室の学習者に対しては、日本語ボランティアの皆さんがていねいに説明し、聞き取りを行いました。

調査は90票を配布、43票を回収、回収率47.8%でした。

以下、調査結果の一部を紹介します。

*

「わかる言葉、つかえる言葉は何ですか」という設問では74.4%の回答者が「日本語がわかる、つかえる」と回答しました。しかし、「生活で困っていることはありますか」という設問には、41.5%の回答者が日本語に困っていると回答しました。これを見ると日本語教室の存在は貴重だと思われます。

また「習志野市にしてほしいことはありますか

か」では「日本語や日本文化を学ぶ機会を増やす」、「市役所窓口での通訳対応」、「生活で必要な情報をやさしい日本語にする」等が上位を占めました。日本に長く居住している外国人からは、「外国人と日本人の交流を増やす」、「図書館に外国語で書かれた本を増やす」等が挙げられました。「してほしいこと」は「困っていること」に対応して「日本語や日本文化を学ぶ機会がほしい」がトップでした。全体的に言葉に関する設問が多いということもありますが、外国人にとって何をやるにしても言葉の問題は大きな壁となっていることがわかります。

*

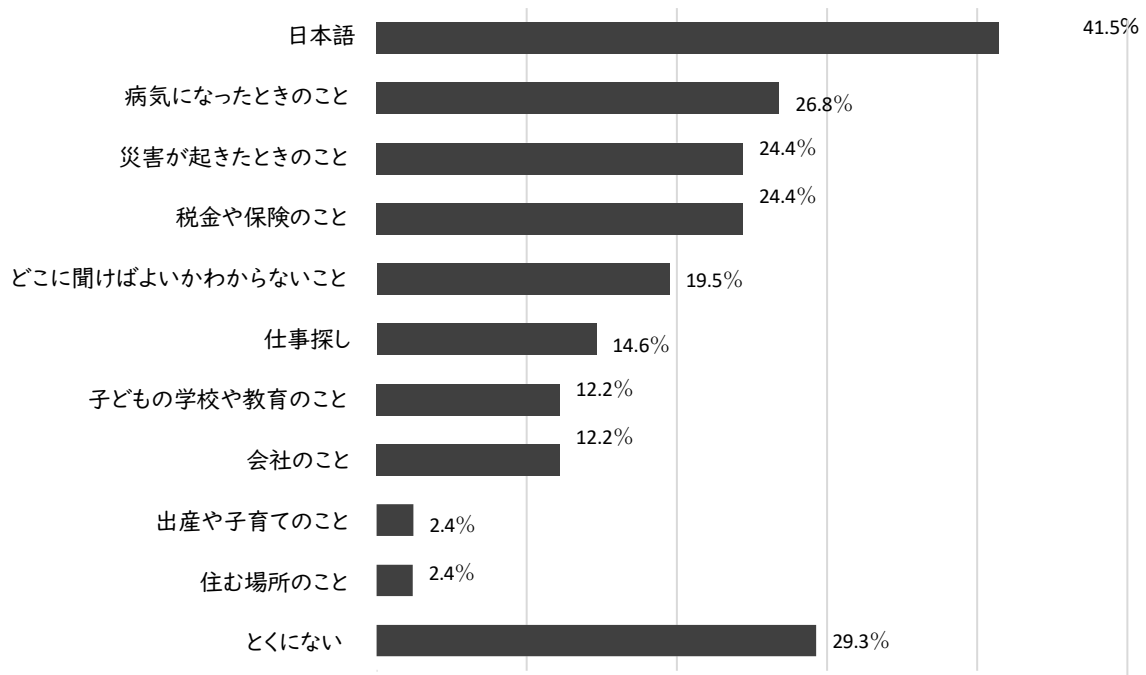
今回の調査は、回答数が多くはなく、外国人の一部の意見ではありますが、一定の現状と困りごとの把握ができたと思われれます。国際交流協会としても、課題の解決に向けて市に協力しながら事業を進めていきたいと思っています。

以上の「習志野市外国人市民意識調査結果報告書」は市のホームページからご覧になれます。以下のアドレスからアクセスしてください。

https://www.city.narashino.lg.jp/soshiki/kyodoseisaku/gaikokujin_chosa.html

《次ページに集計結果の一部を紹介します》

問. 生活で困っていることはありますか。(複数回答可)



問. 習志野市にしてほしいことはありますか。(複数回答可)

